

## 令和4年度大豆生育定期調査結果 No.3 (生育・開花)

岩手県農業研究センター 生産基盤研究部水田利用研究室・県北農業研究所作物研究室  
(生産基盤研究部：TEL0197-68-4412、FAX0197-71-1081、県北農業研究所：TEL0195-47-1073、FAX0195-49-3011)

## I 農業研究センター本部 (北上、調査日：8月5日)

## 1 気象経過 (図2)

7月は、上旬が気温及び日照時間は平年を上回ったが、第3～第5半旬は降雨が多く日照時間が少なかった。

7月第6半旬は、高温・多照であったが、8月第1半旬は降水量が多く、日照時間が少なかった。



図1 ナンブシロメの生育状況  
(8月5日)

## 2 栽培条件

- (1) 調査場所 農業研究センター：北上市成田 標高90m
- (2) 土壌条件 農業研究センター：淡色多湿黒ボク土 (水田転換1年目)
- (3) 種子消毒：クーラーMAXXの塗沫処理
- (4) 播種日、栽植密度及び播種粒数：6月6日、9.52株/㎡、2粒播き (出芽後1本立てに間引き・補植)
- (5) 施肥量 (基肥) N:4kg/10a、P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>:12kg/10a、K<sub>2</sub>O:10kg/10a、堆肥2t/10a
- (6) 中耕培土：7月4日、7月12日、7月21日の3回
- (7) 病虫害防除：トレボン乳剤+プロポーズ顆粒水和剤 (7月14日)  
リドミルゴールドMZ+スミチオン乳剤 (7月29日)  
プロポーズ顆粒水和剤+スミチオン乳剤 (8月5日)

## 3 生育概況 (表1)

## (1) 生育

6月下旬から7月上旬までの高温・多照の影響により生育は3品種ともかなり旺盛で、過去5か年平均 (以下、平年と表記) に比べ、主茎長は+24.1~30.3cm長く、茎径は+1.20~2.01mm太く、主茎節数は+2.2~2.6節多くなっている。

さらに、葉面積指数は平年差+2.961~3.188と高く、地上部乾物重は平年比183~217%と重く、生育は平年を大きく上回っている。

また、開花期は3品種とも平年より早く、ナンブシロメで1日、リュウホウで3日、シュウリュウで5日早くなった。

表1 播種60日後 (8月5日) の生育調査結果

品種	年次	開花期	草丈 (cm)	主茎長 (cm)	茎径 (mm)	主茎節数 (節)	分枝数 (本/株)	葉面積指数*2 (LAI)	地上部乾物重 (g/㎡)
ナンブシロメ	令和4年	7/26	111.0	76.8	10.23	16.2	5.0	5.727	355.3
	過去5か年平均*1	7/27	76.6	46.5	8.95	13.8	4.5	2.766	173.7
	差・比	-1	+34.4	+30.3	+1.28	+2.4	+0.5	+2.961	205%
リュウホウ	令和4年	7/27	104.8	68.1	10.96	16.1	4.5	5.772	343.4
	過去5か年平均	7/30	72.3	42.6	8.95	13.5	3.7	2.584	158.0
	差・比	-3	+32.5	+25.5	+2.01	+2.6	+0.8	+3.188	217%
シュウリュウ	令和4年	7/28	104.9	64.8	10.76	16.1	3.9	6.319	351.7
	過去5か年平均	8/2	72.7	40.7	9.56	13.9	3.5	3.276	191.9
	差・比	-5	+32.2	+24.1	+1.20	+2.2	+0.4	+3.043	183%

\*1：過去5か年はH29年~R3年のデータ。

\*2：葉面積指数は単位面積あたりの葉の総面積。

#### 4 半旬別気象経過図

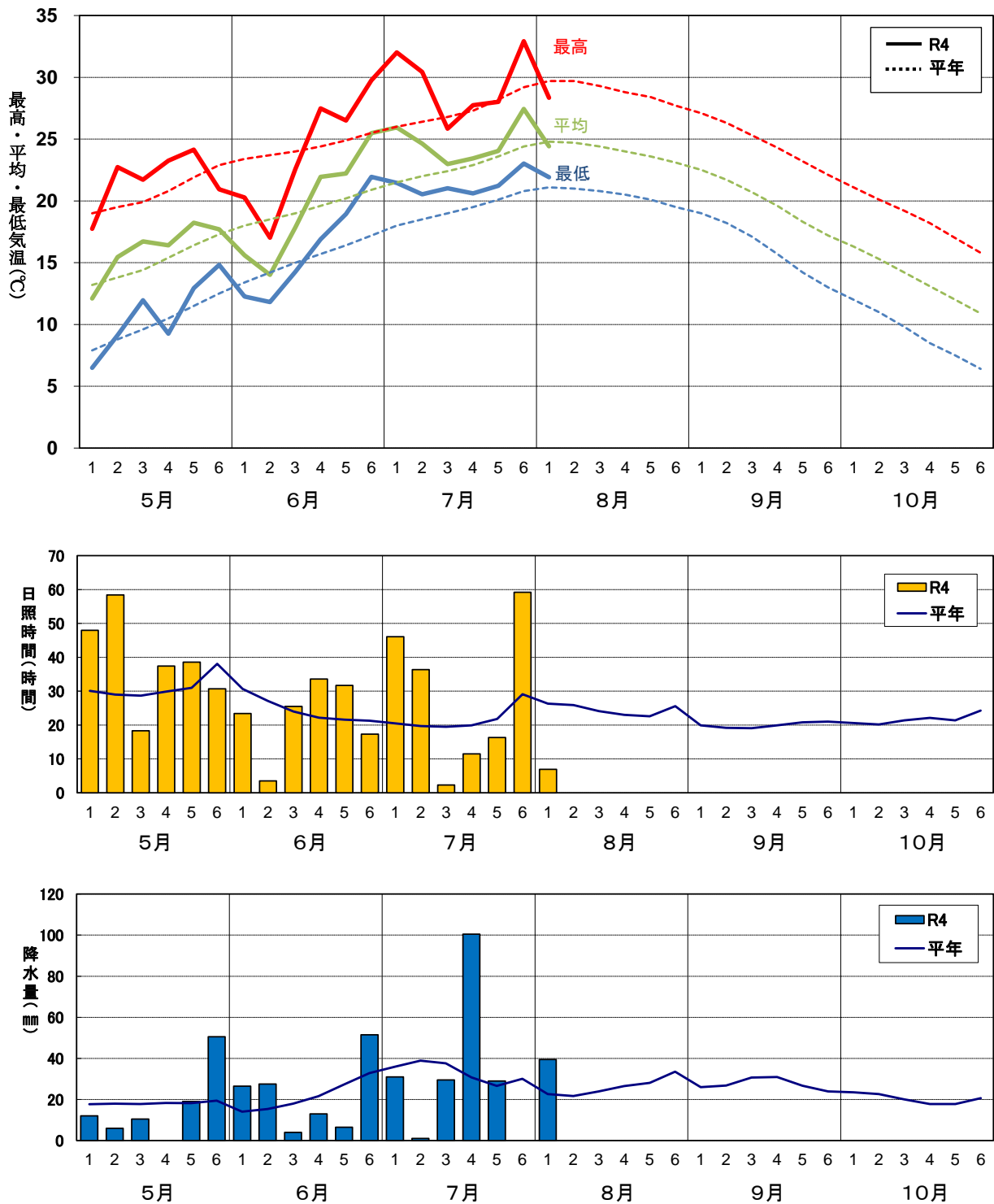


図2 気象経過図 (アメダス北上)

## II 県北農業研究所（軽米、調査日：8月19日）

### 1 気象および生育の概況

- 平均気温は、7月第4半旬以降7月末まで平年並で推移し8月第1半旬は平年を下回ったが、その後は平年並に推移した。日照時間は、7月第6半旬は大きく平年を上回ったが、その他は平年より寡照だった。降水量は、7月第5・第6半旬は平年を下回ったが、その他は平年を大きく上回り多雨となった。
- 主茎長は平年差-0.2～+19.7 cm、主茎節数は平年差-1.8～+1.0 節、分枝数は平年差-2.2～-1.2 本、地上部乾物重は平年比 95～128%となった。ナンブシロメは蔓化傾向のものが散見され、シュウリュウとリュウホウは平年並の生育となった。



図3 ナンブシロメの生育状況  
(8月19日)

表2 大豆の生育状況

品 種	播種年次	出芽に要した日数	6月20日			7月20日			
			主茎長 (cm)	主茎節数 (節)	地上部乾物重 (g/m <sup>2</sup> )	主茎長 (cm)	主茎節数 (節)	分枝数 (本/株)	地上部乾物重 (g/m <sup>2</sup> )
ナンブシロメ	<b>R4</b>	<b>8</b>	<b>7.2</b>	<b>2.0</b>	<b>5.1</b>	<b>51.2</b>	<b>11.3</b>	<b>2.1</b>	<b>146.3</b>
	平年値	8	11.4	4.0	9.0	39.1	10.6	2.1	95.3
	差・比	0	-4.2	-2.0	57%	12.1	0.7	0.0	153%
シュウリュウ	<b>R4</b>	<b>9</b>	<b>6.4</b>	<b>2.2</b>	<b>6.4</b>	<b>40.8</b>	<b>10.7</b>	<b>0.9</b>	<b>211.8</b>
	平年値	9	9.1	3.8	11.8	33.8	10.5	1.6	113.8
	差・比	0	-2.7	-1.6	54%	7.0	0.2	-0.7	186%
リュウホウ	<b>R4</b>	<b>8</b>	<b>6.1</b>	<b>2.0</b>	<b>5.4</b>	<b>39.6</b>	<b>10.6</b>	<b>1.4</b>	<b>166.1</b>
	平年値	8	8.1	3.8	9.4	33.2	10.4	1.7	109.3
	差・比	0	-2.0	-1.8	57%	6.4	0.2	-0.3	152%

品 種	播種年次	開花期	8月19日			
			主茎長 (cm)	主茎節数 (節)	分枝数 (本/株)	地上部乾物重 (g/m <sup>2</sup> )
ナンブシロメ	<b>R4</b>	<b>7月27日</b>	<b>99.6</b>	<b>16.3</b>	<b>3.6</b>	<b>621.7</b>
	平年値	7月27日	79.9	15.3	4.8	486.2
	差・比	0	19.7	1.0	-1.2	128%
シュウリュウ	<b>R4</b>	<b>8月2日</b>	<b>73.2</b>	<b>14.7</b>	<b>1.8</b>	<b>539.4</b>
	平年値	8月2日	73.3	16.5	4.0	562.4
	差・比	0	-0.2	-1.8	-2.2	96%
リュウホウ	<b>R4</b>	<b>8月1日</b>	<b>75.0</b>	<b>15.1</b>	<b>3.2</b>	<b>482.6</b>
	平年値	7月30日	70.0	15.5	4.8	506.8
	差・比	2	5.0	-0.4	-1.6	95%

注1) 6月20日調査の平年値：ナンブシロメとシュウリュウがR1年とR2年を除くH27～R3の5カ年平均、リュウホウはH28年(作付け無し)とR1年、R2年を除くH26～R3の5カ年平均。R1年とR2年は調査日が異なるため平年値から除外。

注2) 7月20日及び8月19日調査の平年値：直近5カ年平均。

## 2 耕種概要

播種日：令和4年5月25日

栽植密度：14,286株/10a（畦幅70cm、株間10cm、1株1本仕立て）

施肥量（kg/10a）：N 3.0-P205 9.0-K20 7.5

堆肥：おがくず牛ふん堆肥 2,000kg

雑草防除：プロールプラス乳剤 薬液600mL/10a、希釈水量150L/10a（播種翌日に散布）

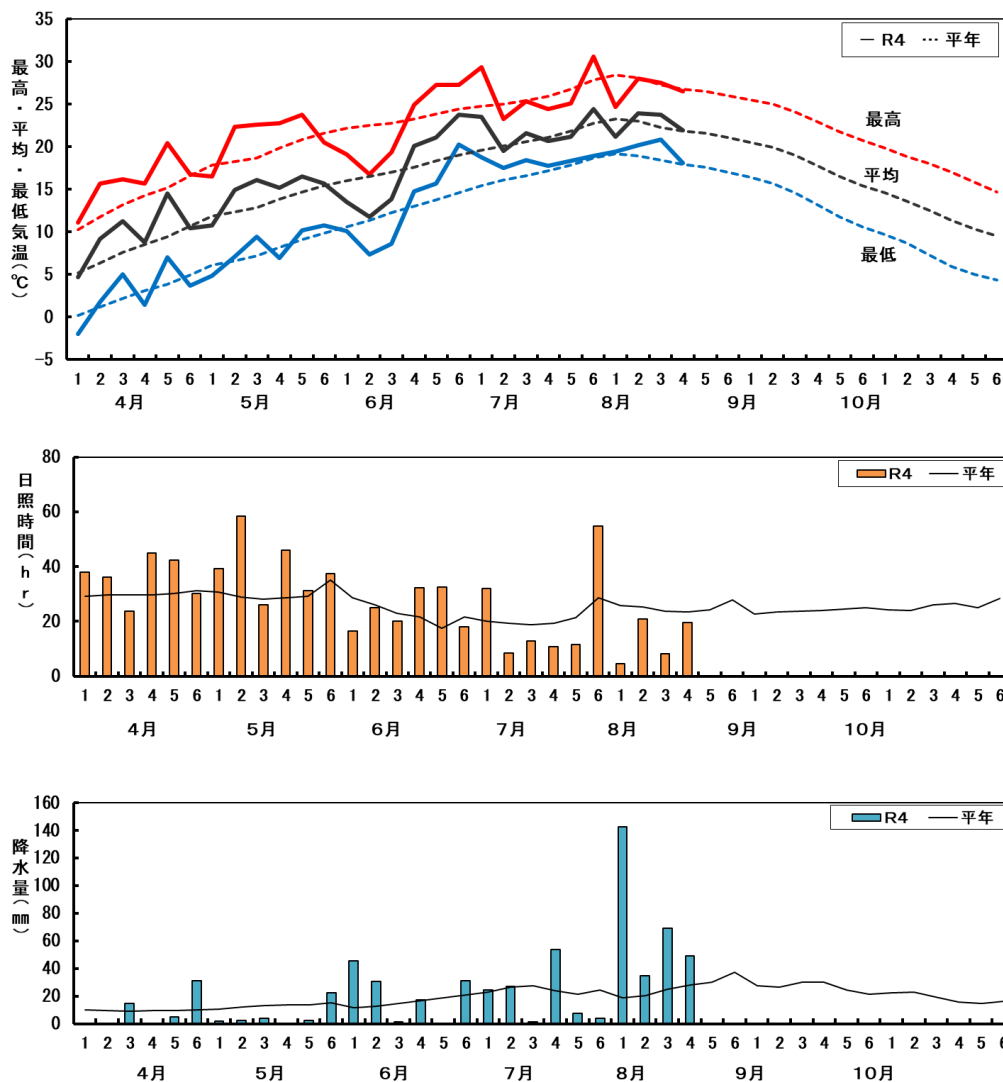
病害虫防除：クルーザーMAXX 8ml/種子1kg（播種前、乾燥種子に塗沫処理）

トレボン乳剤 1,000倍（7月4日）

スミチオン乳剤 1,000倍、リドミルゴールドMZ 500倍（7月26日）

中耕・培土：（一回目）7月4・5日、（二回目）7月21日・8月2日

令和4年 県北農業研究所における半旬別気象経過図  
（8月第4半旬まで）



注1 気温及び日照時間は県北農業研究所気象観測値、降水量はアメダス（軽米）観測値

注2 気温及び日照時間の平年値はH9～R3年の平均値、降水量はアメダス（軽米）平年値